

Mizuho Daily Market Report

2023/11/6

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	150.34	149.39	▲1.06	▲0.27
EUR	1.0629	1.0731	+0.0109	+0.0166
AUD	0.6442	0.6513	+0.0079	+0.0178
SGD	1.3626	1.3543	▲0.0105	▲0.0155
CNY	7.3152	7.2754	▲0.0389	▲0.0420
MYR	4.7350	4.7270	▲0.0232	▲0.0512
THB	35.77	35.71	▲0.21	▲0.51
IDR	15728	15728	▲129	▲212
PHP	56.07	56.11	▲0.62	▲0.85
INR	83.27	83.29	+0.03	+0.04
VND	24563	24561	▲15	▲11

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.572%	▲8.7 bp	▲26.2 bp
日本(10年)	0.926%	+0.0 bp	+4.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.645%	▲7.2 bp	▲18.7 bp
オーストラリア(5年)	4.378%	▲4.3 bp	▲7.0 bp
シンガポール(5年)	3.162%	▲5.6 bp	▲14.0 bp
中国(5年)	2.524%	+0.2 bp	▲4.3 bp
マレーシア(5年)	3.786%	+0.3 bp	▲10.4 bp
タイ(5年)	2.872%	▲1.5 bp	▲9.7 bp
インドネシア(5年)	6.834%	▲9.8 bp	▲26.9 bp
フィリピン(5年)	6.602%	▲4.5 bp	▲6.5 bp
インド(5年)	7.296%	▲1.4 bp	▲5.4 bp
ベトナム(5年)	2.000%	+7.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,061.32	+0.7%	+5.1%
N225(日本)	31,949.89	+0.0%	+3.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,174.67	+0.1%	+4.0%
ASX(オーストラリア)	4,028.19	▲0.1%	+2.4%
FTSE(シンガポール)	3,143.66	+2.0%	+2.7%
SSEC(中国)	3,030.80	+0.7%	+0.4%
KLSE(マレーシア)	64,363.78	+0.4%	+0.9%
SETI(タイ)	6,788.85	+0.6%	+0.4%
JKSE(インドネシア)	1,449.93	+0.7%	+0.6%
PSE(フィリピン)	5,989.27	+0.3%	+0.5%
SENSEX(インド)	1,419.76	+1.1%	+2.3%
VNINDEX(ベトナム)	1,076.78	+0.1%	+1.5%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	281.77	▲0.2%	▲1.2%
金	1,992.65	+0.3%	▲0.7%
原油(WTI)	80.51	▲2.4%	▲5.9%
銅	8,095.70	+0.4%	+0.8%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.80	—	150.30
EUR/USD	1.0620	—	1.0770
AUD/USD	0.6480	—	0.6610
USD/SGD	1.3420	—	1.3680
USD/CNY	7.2850	—	7.3280
USD/INR	4.6320	—	4.7080
USD/THB	35.10	—	36.20
USD/IDR	15580	—	15770
USD/PHP	55.60	—	57.00
USD/INR	82.80	—	83.45
USD/VND	24,100	—	24,800

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は150円台半ばでオープン。前日からの流れを引き継ぎドル売りが優勢となるも、東京休日で参加者が限定的となる中、値幅は限定的。150円台前半で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に上昇する展開。FOMC以降、米金利の低下が進みドル売り圧力が高まっていることがアジア通貨のサポート要因となった。

海外市場のドル円は150円台前半でNYオープン、NY朝方に発表された米10月非農業部門雇用者数の変化が予想を下回り、平均時給も予想より鈍化し、失業率も予想より悪化している内容を受け、米労働市場の減速の思惑から、ドル売りで反応し、149円台前半まで下落。続いて発表された米10月ISM非製造業景況指数のヘッドラインが予想を下回り、発表直後は再び売りが優勢となるも、構成項目の仕入価格と新規注文は予想を上回っていることから149円台後半まで買いもされる。しかし、買戻しは長く続かず、再び149円台前半まで反落。NY午後は動意に乏しい推移が続き、149円台前半でクロス。

【金利】

米債利回りは短期金利を中心に大幅低下して終了。NY朝方の米10月雇用統計において非農業部門雇用者数変化が+150kと事前市場予想+180kを下回った他、失業率の上昇、平均時給の弱含み等が確認され総じて軟調な結果。直後から大きく債券買い優勢となり10年債利回りも一時4.5%を下回る水準に、一服後に売り戻される場面もあったが、その後のISM非製造業景況指数も予想を下回る展開となるなど利上げ停止を連想させる材料が多くカーブはブルスティーフ化。

【予想】

本日のドル円相場は上値の重い推移を予想。先週金曜日に発表された米10月雇用統計の結果が全体的に弱い結果となったことを受け年内の追加利上げ織り込みは低下している状況。先週の日銀会合が円買い材料とはならなかったことを踏まえるとドル円も大きく値を下げる展開は想定していないものの、先週のFOMC、雇用統計を受け米金利が大きく低下している中、上値重く推移すると予想。

【本日の予定】

(日本) 10月 複合PMI(確) / サービス業PMI(確)
(日本) 9月 日銀議事要旨
(アジア) 10月 タイ CPI
(アジア) 10月 ベトナム 国内自動車販売台数
(アジア) 10月 豪 メルボルンインスティテュート
(アジア) 3Q インドネシア GDP
(欧州) 10月 ユーロ圏 サービス業PMI(確)
(欧州) 10月 仏 サービス業PMI(確)
(欧州) 10月 伊 サービス業PMI
(欧州) 10月 愛 登録失業者数
(欧州) 10月 独 サービス業PMI(確)
(欧州) 10月 英 建設業PMI
(欧州) 10月 英 新車登録台数
(欧州) 10月 西 サービス業PMI
(欧州) 11月 ユーロ圏 センティックス投資家信頼感
(欧州) 9月 独 製造業受注
(欧州) 独 国債入札(6M)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。